

経営比較分析表（令和6年度決算）

長崎県 壱岐市

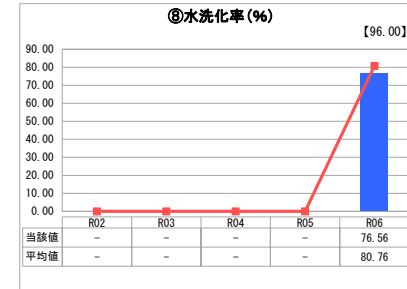
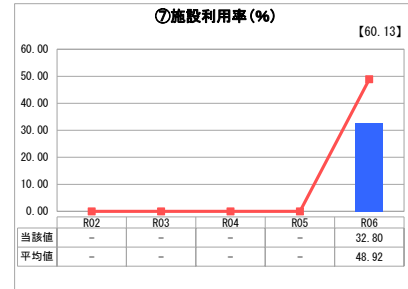
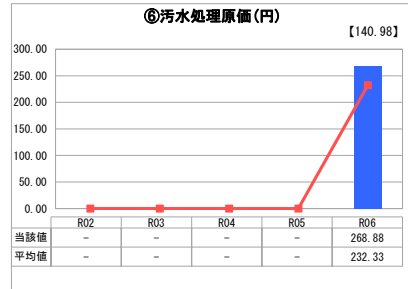
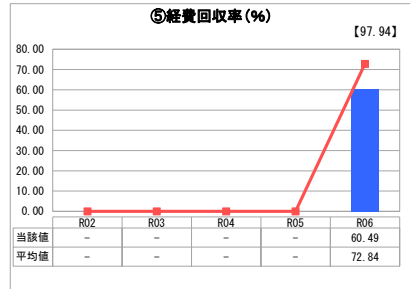
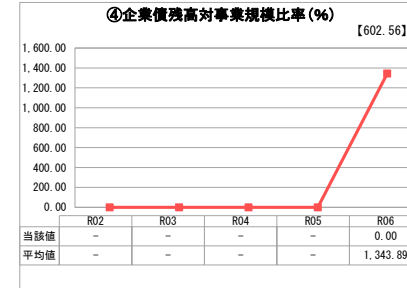
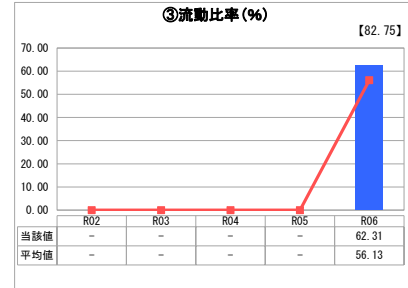
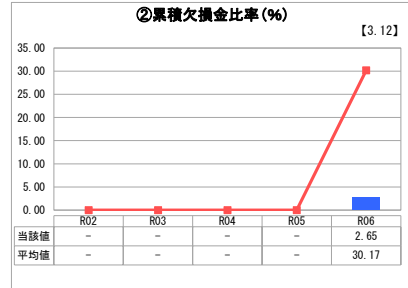
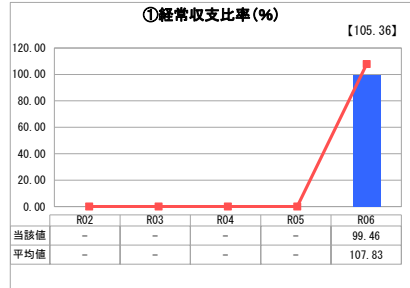
業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	下水道事業	公共下水道	Cd2	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20m ³ 当たり家産料金(円)
-	81.25	13.59	102.73	3,550

人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
23,736	139.42	170.25
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km ²)	処理区域内人口密度(人/km ²)
3,179	1.87	1,700.00

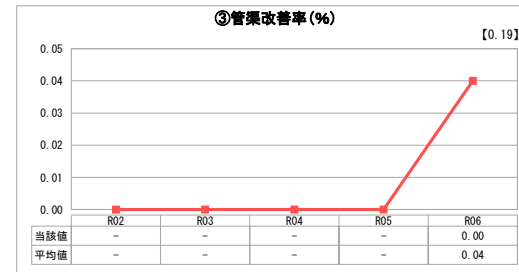
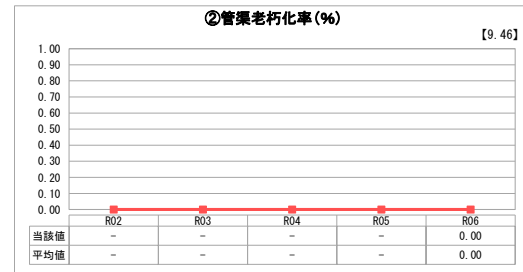
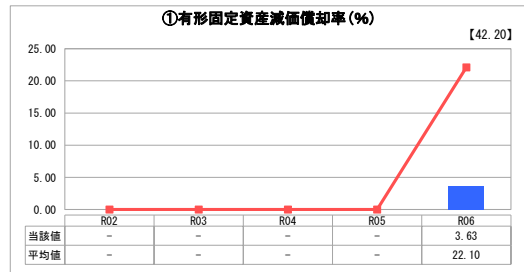
グラフ凡例

- 当該団体値(当該値)
- 類似団体平均値(平均値)
- 【】 令和6年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

当市では、2つの処理区(北部処理区、中央処理区)で公共下水道事業を実施している。
 ①経常収支比率、⑤経費回収率について100%未満であるが、令和6年度より料金改定による使用料収入の増加も見込める。
 ⑦施設利用率、⑧水洗化率は平均値以下のため、比較的使用量の多い、宿泊施設、病院などで未だ接続がされていないところを重点的に加入推進を行い使用料の増に努め改善していく。
 また、施設内の機器を計画的に高効率な機器への更新を行い維持管理の削減に努める。
 令和6年度から、公営企業会計に移行したことにより、より細やかに経営状況を把握し、持続可能なストックマネジメントを推進し経営の健全化に務める。

2. 老朽化の状況について

当市では、2つの処理区(北部処理区、中央処理区)で公共下水道事業を実施しているが事業着手年度が平成7年であるため、比較的新しい状況である。

全体総括

当市の課題は接続率が低いことに起因する使用料の収入の少なさである。使用料収入の確保に努めるため加入推進を強化し、加入者増に努めることが重要である。また、長期的な課題としては、将来の管渠更新を見据え、定期的な点検等により、適切に維持管理を行うことで、トータルコストの削減に努めることが重要である。一方で、今後想定される人口減少社会に鑑み、維持管理計画等の見直し(予算の平準化)を検討する必要がある。

※ 「経常収支比率」、「累積欠損金比率」、「流動比率」、「有形固定資産減価償却率」及び「管渠老朽化率」については、法非適用企業では算出できないため、法適用企業のみ類似団体平均値及び全国平均を算出しています。